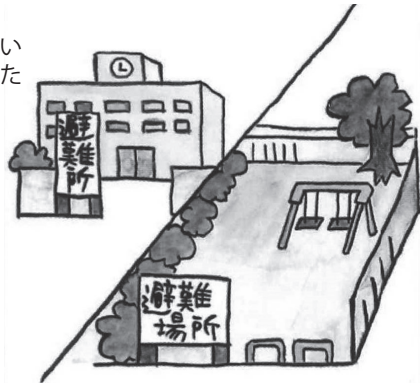


※イラストの一部は、チーム防災いずのくにの『一時ひなん防災かるた いずのくに』から引用しました。



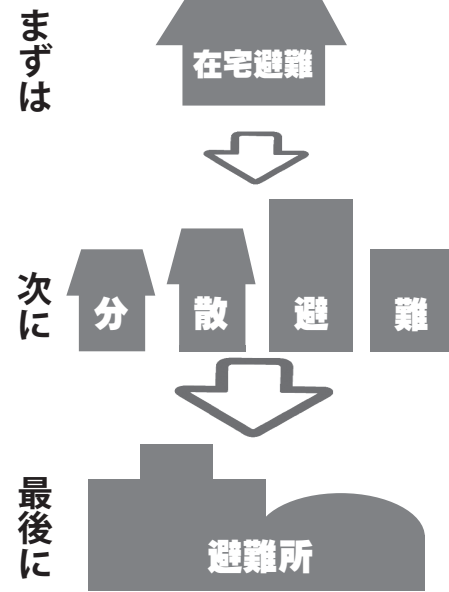
▲市 HP 避難所一覧



**市** からの避難情報として、警戒レベル3「高齢者等避難」以上が発令される場合に、避難所が開設されます。家から近い避難所はどこなのか、また避難所までの経路を『ぼうさいいずのくに』や市HPであらかじめ確認しておきましょう。

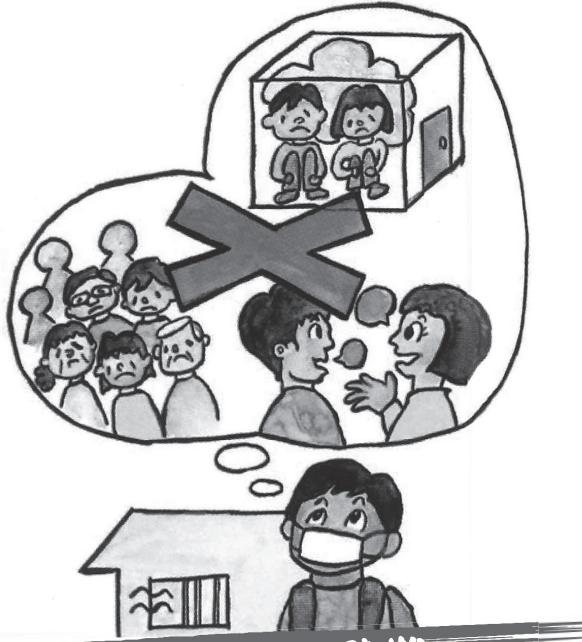
☂ **家から近い避難所は？**

**避難先どうする？**



**災害時**、命を守るために最も有効な手段は、早期に避難することです。  
しかし、避難とは「避難所へ行く」ことだけではありま

☂ **避難って何？**



せん。自宅でも災害のおそれが少ない場所であれば、家にとどまる方法**在宅避難**、より安全な場所にある親戚・知人の家、ホテルに避難するといった方法**分散避難**もあります。

**「難」を「避ける」のが避難**

☂ **「いつ」「どこに」避難する？**

もしもの時「いつ」「どこに」避難すれば良いのでしょうか。自分や家族にとって、最も有効な「避難」について考えましょう。

○災害リスク  
自分の家・職場にどんな災害リスクがあるのか、事前に知っておくことが大切です。

市の防災マップ『ぼうさいいずのくに』(冊子)や国が公開している『重ねるハザードマップ』(インターネット)で確認することができます。  
○行動するタイミング  
突発的に発生する地震に比べて、風水害はある程度予想することが出来ます。そのため、どのような状況になったから避難するか「目安」を考え、家族と共有しておきましょう。

# どうする避難



☂ **非常持ち出し品の準備は？**

**避難**の際、必要になるものは各家庭の状況で異なります。災害時、すぐに持ち出すことができるように、必要なものをあらかじめ準備しておきましょう。

一度背負って重さを確認してみましょう



**非常持ち出し品**



※掲載したものは代表例です。詳しくは「ぼうさいいずのくに」をご覧ください。

**市 LINE 公式アカウント**



適切な避難のためには、最新の情報を入手することが大切です。災害が発生しても落ち着いて行動できるような、情報をいち早く入手できる準備をしておきましょう。  
災害時には、市のHPで避難情報や被害情報、交通情報など災害関連情報をお知らせします。LINEやメール配信サービス、FMいずのくになら、お手持ちのスマートフォンで災害情報を入手することができます。

☑ **災害情報は LINE と FM いずのくに**

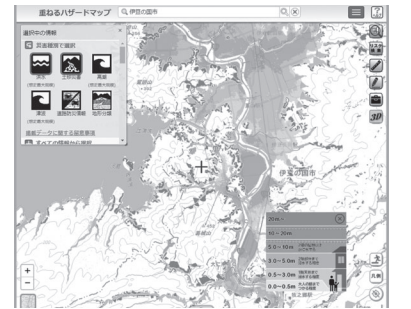
台風の季節が近づいています。浸水害や土砂災害が増えるこの時期に、今一度、風水害への備えを確認しましょう。  
雨が降ったら、どうする避難？

☎ 危機管理課

☎ 055-948-1482



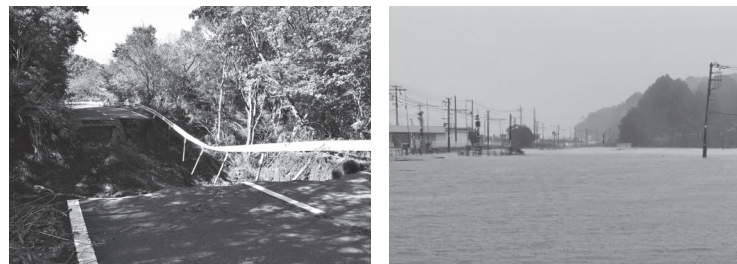
▲市防災マップ(冊子) ぼうさいいずのくに



▲重ねるハザードマップ (インターネット)

☂ **近年の被害は？**

近年、伊豆の国市に大きな被害をもたらした災害としては、令和元年台風第19号が記憶に新しいでしょう。狩野川台風(昭和33年台風第22号)を超える雨量となり、600件以上の浸水被害が発生しましたが、狩野川放水路の開放や住民の迅速な避難により、人的被害はありませんでした。



▲令和元年台風第19号で被災した市内▲

FM 放送アプリ「Radimo(レディモ)」なら、いつでも、どこでも、FM いずのくにを聴くことができます。



近年、風水害の被害は深刻化しています。災害はいつ発生するかわかりません。しかし、「事前の備え」をしておくことが、自分や大切な人の安心・安全につながります。「じぶんごと」として、今一度、備えを見直してみましょう。

